

July 2022

第37号

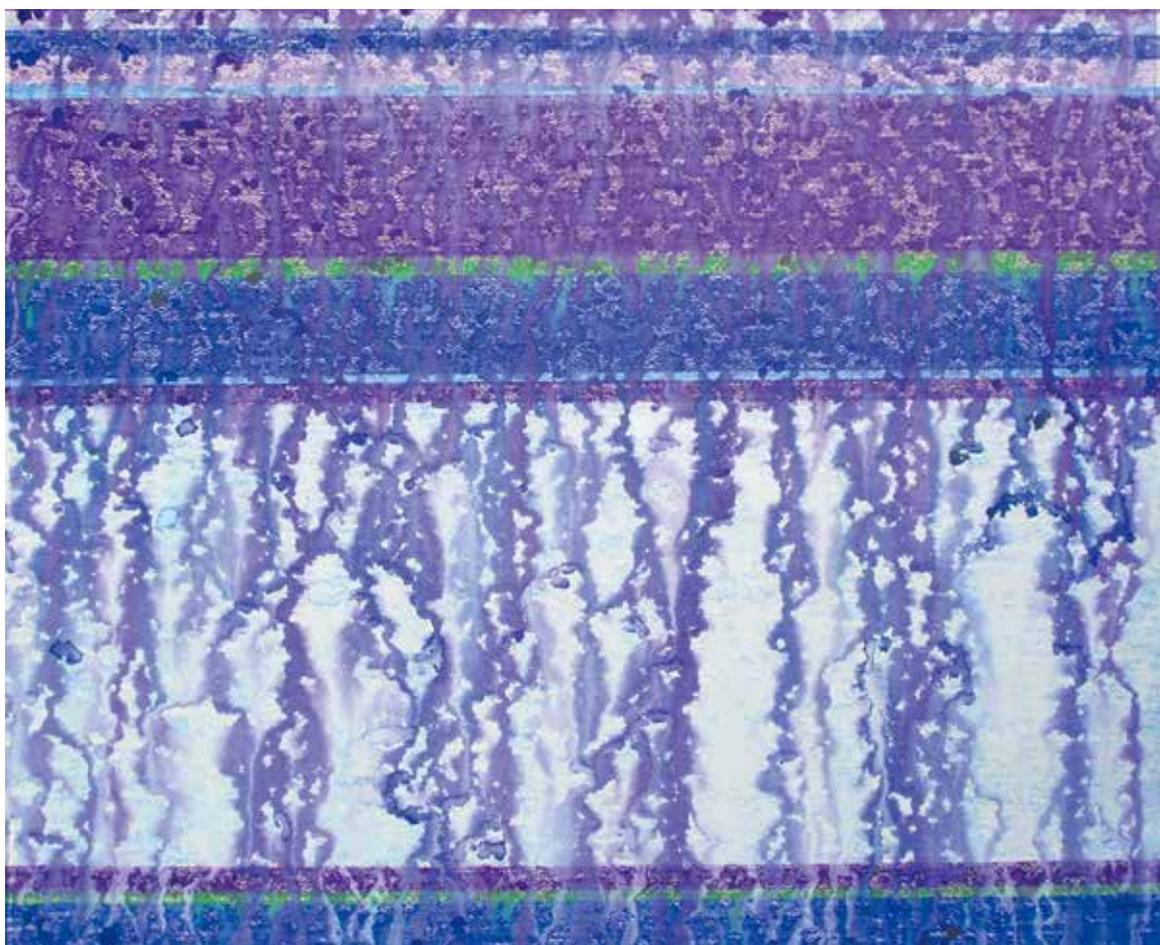
発行日 令和4年7月1日

発行責任者 吉岡 宏幸

ふれあい

社会福祉法人

北海道宏栄社



「表題:雨は流れる～紫」
画:高橋 一文

もくじ

- 60周年を迎えて／管理者、サービス管理責任者の就任 2頁
- 60年のあゆみ～前編～ 3頁
- 想いDEフォト 4～5頁
- スポーツ大会合宿／外出支援 6頁
- 映画観賞会／糖尿病研修 7頁
- 医務室だより／美化清掃 8頁
- 調理実習／月一会・行事食 9頁
- 令和4年度事業計画／令和3年度決算報告 10頁
- 新利用者さんの紹介／新職員紹介 11頁
- 表紙について／編集後記 11頁
- 各施設のご案内／宏栄社の所在地／施設の利用状況 12頁

60周年を迎えて

理事長 吉村 克之



昭和37年、厚生省（当時）より「社会福祉法人北海道宏栄社」として認可を受けて60年目を迎えました。設立からの歴史を振り返り数多くの方々、献身的な奉仕の精神で運営に協力いただいた歴代の理事・評議員の方々、福祉事業に対して理解を持って努力し苦難を乗り越え頑張ってくれた職員の方々に敬意と感謝を申し上げます。

昭和34年頃日本は戦後の荒廃から著しく復興し社会的にも経済的にも大きく躍進し国民すべてが希望に満ち活発に活動していた時代。まだ障がい福祉に目を向ける余裕もなく全道に身体障がい者手帳の交付されている方が41,590名で、そのうち収入皆無が50%以上という状態でした。その時代に当法人の設立者、川眞田義雄氏は仕事上で手に障がいを受けて本人も障がい者となり、社会に取り残され、環境の厳しさを知りました。そして、障がい者も一緒に社会に参加すべきであると思い、障がい者に授産課目の習得と生活指導により職業技術、技能を身に付けて社会復帰を図る目的で授産場を開設し縫製、製靴の授産事業を行うこととなりました。しかし無認可のため公的助成もなく運営が厳しく社会福祉法人の認可を受けるべく川眞田氏は私財をつぎ込み授産施設としての建物を建設しそれを基本財産として寄付して今日の宏栄社の礎にして社会福祉施設としての申請をし昭和37年に社会福祉法人北海道宏栄社として認可され今日までに至っております。現在は時代の変化に対応してホテル、病院関係のクリーニング事業を主体として就労継続B型、A型、就労移行支援、施設入所支援、生活介護事業、相談支援事業、福祉ホーム、生活困窮者自立訓練事業を運営しております。

障がい者施設にはまだ不満のところはありますが、少しずつ充実してきております。国も障がい者が積極的に社会に参加できるよう就労移行への支援の窓口を開くべく企業に指導をしていますが企業によっては義務感での雇用であって適切な部門の採用になっていないような場面もあります。施設としては利用者の就労先に足を運んで安心して働き続けられるよう支援する義務があります。また社会の変化の多様性により目に見えない障がいが起こっている様に思います。例えば精神障がい、ジェンダーギャップ、ヤングケアラー、障がい者の高齢化等の問題に対して障がい者施設だけでなく、町内会などの地域、その他の関連団体と交流し情報の交換をして障がい者すべてが安心して社会に参加できるよう見守るのが社会福祉法人の社会的責任だと思います。

管理者、サービス管理責任者の就任

令和4年4月1日より各事業所の管理者、サービス管理責任者が新たに就任しました。

障害者支援施設北海道宏栄社

○管理者 高田栄一郎

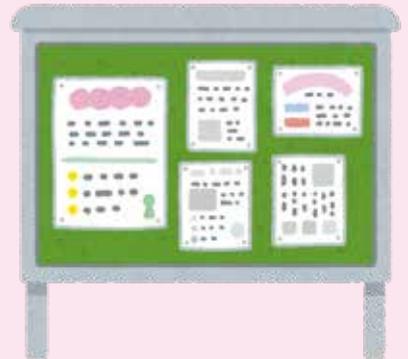
○サービス管理責任者 梶谷怜史

障害福祉サービス事業宏栄セルフ

○管理者 鎗水広光

○サービス管理責任者 岡音昌智、丸山勝大

今後とも、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



ねん 60年のあゆみ ~前編~ ぜんぺん

れいわ ねんど しゅうねん むか しゃがいふくしほうじんほっかいどうこうえいしゃ
令和4年度をもって60周年を迎えました社会福祉法人北海道宏栄社。

こんがい ごう わた ねん ふん かえ おも
そこで今回から2号に渡って60年のあゆみを振り返りたいと思います。

れきし ふん かえ しょだいにじちょう しせつちょう かわ また よしおし しょうかい
歴史を振り返るにあたり初代理事長で施設長である川真田義雄氏のエピソードを紹介いたします。

かわ また よしおし しょうわ ねん がつひえいちょう かわ また もくざいこうぎょうゆうげんかいしゃ せつりつ
川真田義雄氏は、昭和22年5月美瑛町で「川真田木材工業有限会社」を設立しました。

しかし、こうじょうない きかいそうさちゅうあやま みぎて し せつだん ひうん あ じこ き かいしゃ けいえい
はな えんこ おたるし いじゅう
しかし、工場内で機械操作中誤って右手5指を切断する悲運に遭い、この事故を機に会社の経営を離れ、縁故のある小樽市へ移住しました。

みづか しんたいしょう しゃ あたら せいかつ おく なか おな なや しょう しゃ
自らが身体障がい者というハンディを負っての新しい生活を送る中、同じハンディに悩む障がい者
じりつこうせい ひつようせい つうかん かわ また し どうじほっかいどうしんたいしょうがいしゃふくしきょうかいちょう おたるしぎかい
の自立更生の必要性を痛感した川真田氏は、当時北海道身体障害者福祉協会会長であり、小樽市議会
ぎいん あかさかけんいちろう し たず みづか りそう おたる じつげん じろん とろ かわ
議員でもあった赤坂健一郎氏を訪ね、自らの理想を小樽で実現したいという持論を吐露しました。川
また し ねつい あかさかし つた のち ほっかいどうこうえいしゃそうせつ
真田氏の熱意が赤坂氏に伝わり、後の北海道宏栄社創設へとつながっていきました。

とうじ あかさかし しゃがいふくしじぎょう すず きょうせいかわ せきよくてき しえん ひつよう かんが かわ また し おたるし
当時、赤坂氏は社会福祉事業を進めるには行政側の積極的な支援が必要と考え、川真田氏を小樽市
りじしゃ しょうかい なか り どうじおたるし けいざいこうせいぶちょう いながきたすくし おたるし
の理事者に紹介しました。その中の1人、当時小樽市の経済厚生部長であった稲垣 祐氏は、小樽市の
しゃがいふくしじぎょう すいしん うえ しんたいしょう しゃ しょくぎょうくねん ば ていきょう しゃがいふつき かわまた
社会福祉事業を推進する上で、身体障がい者に職業訓練の場を提供し社会復帰させようとする川真田
し こうぞう きょうかん しどう しえん やくぞく
氏の構想に共感し、その後における指導と支援を約束しました。

こうした中、なか しょうわ ねん がつ おたるしやだだまち おたるしんたいしょうがいしゃこうせいじゅさんじょう かいせつ ほうせい
せいくつ じゅさんじぎょう かいし むにんかしせつ こうてきじよせい
製靴の授産事業を開始しました。しかし、無認可施設で公的助成がなかったため経営が苦しく、社会
ふくしほうじん にんか う じぶん ざいざん つが しきんちょうたつ しょうわ ねん がつ おたるしいろない
福祉法人の認可を受けるため、自分の財産を使い資金調達をして、昭和35年4月、小樽市色内に
じゅさんしせつ けんせつ めいしょう しんたいしょうがいしゃこうせいじゅさんしせつほっかいどうこうえいしゃ
授産施設を建設し、名称を「身体障害者更生授産施設北海道宏栄社」としました。

ご しょうわ ねん がつ だい しゅしゃがいふくしじぎょうけいえい きよかしんせい ていしゅつ しょうわ ねん がつ にちづけ
その後、昭和36年4月に第1種社会福祉事業経営の許可申請を提出し、昭和37年4月1日付で
しゃがいふくしほうじん してい う しゃがいふくしほうじんほっかいどうこうえいしゃ ねんめ き
社会福祉法人の指定を受け、社会福祉法人北海道宏栄社として1年目のスタートを切りました。

しょうわ ねん
昭和34年
おたるしんたいしょうがいしゃこうせいじゅさんじょう かいせつ
「小樽身体障害者厚生授産場」開設

しょうわ ねん
昭和35年
ほっかいどうこうえいしゃ かいしょう
「北海道宏栄社」に改称

しょうわ ねん
昭和37年
しゃがいふくしほうじんせつりつにんか
社会福祉法人設立認可



こうへん じこう とど
後編は次号でお届けします。

おも 想いDEフォト

がつ にち かい
12月17日クリスマス会



12月17日にクリスマス会を開催しました！
入所の利用者さんに特別なクリスマス用の夜
ご飯とケーキを食べてもらい、プレゼントの
抽選会を行いました。

通所の利用者さんにはお仕事が終わった後に
クリスマスプレゼントを渡しました。



がつ 2月11日 にち ゆき 雪あかり



かわいい猫のキャラクターをモチーフにした雪像です！



いちばん大きな雪像です！
笑顔がかわいいですね☆

支援課内で3チームに分かれてそれぞれ事前に雪像を作り、小樽雪あかりの路の開催日に合わせた2月11日に雪あかりを開催しました！



体の凹凸まで作りこまれたとても再現度の高い雪像です！

がつ 5月17日・21日 にち ふれあいガーデン



ペチュニア カリブラコア



ペチュニア
ピンクアイス



今年のふれあいガーデンは参加希望者が多く、密を避ける為に3回に分けて行いました。
天気が良かったので、お日様の下でのびのびと開催できました！

(紙面担当/表涼楓、照井菜愛)



たいかいがっしゅく

スポーツ大会合宿



令和4年10月29日（土）～31日（月）に栃木県で行われる第22回全国障害者スポーツ大会に北海道

選手団派遣選手として、長谷川雅紀さんがフライングディスク、苫米地凌さんが卓球の種目で選出されました。

この大会に向けて行われた、5月10日（火）～12日（木）の江別市の道立野幌総合運動公園での合宿にも参加しており、今回は合宿の感想と全国大会への意気込みをインタビューしました。

1日目

- 13:00 開講式
- 13:45 ユニフォーム試着
- 14:30 会場移動
- 15:00 強化練習
- 17:00 宿舎移動



2日目

- 7:00 起床・朝食・準備
- 8:30 会場移動
- 9:00 強化練習
- 16:00 宿舎移動



3日目

- 7:00 起床・朝食・準備
- 8:30 会場移動
- 9:00 強化練習
- 12:00 現地解散



〇感想

やる事は普段と変わらないけどスタッフがいたから普段よりいい練習が出来たと思う。

〇意気込み

8年前に全国に行ったけど納得のいく結果を残せなかったので借りを返しに行きたい。



長谷川雅紀さん

苫米地凌さん

〇感想

スタッフとマンツーマンで練習した結果、打てるサーブの種類が増えて成長を感じました。

〇意気込み

まずは無事に行って帰ってくるのが第一。次に優勝や、他の選手と交流を深めるのが目標です。

がいしゅつしえん 外出支援



5月24日（火）、6月2日（木）に小樽市花園にあるミルクプラントというアイスクリーム屋さん
に職員と利用者さんで行きました。色々な味がありどれにしようか悩む人も多かったです。

前年度はなかなか行事ができない状況だったため、今年度は楽しい行事をたくさん開催していきたく
と思っています。

えいがかんしょうかい 映画鑑賞会

かんしょう えいが
鑑賞した映画・・・

- 4月8日 「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ モーレツ!オトナ帝国」
- 5月13日 「椿三十郎」

いまだコロナ禍で外出が思う様に出来ない時世ですので室内でも楽しめる催し物として4月8日と5月13日に映画鑑賞会を開催しました!スクリーンを使い、室内を出来るだけ暗くする等映画館のような雰囲気に近づける工夫も凝らし、満足してもらえるイベントになるように心がけました。

みんなで観る方が一人の時より映画を楽しめる感じがしますね!



とうによびょうけんしゅう 糖尿病研修

今年から宏栄社内にて、糖尿病の治療食を召し上がっている利用者さんに向けて糖尿病に関する研修を行いました。

「糖尿病」という言葉自体はよく見聞きするものではありませんが、より理解を深めてもらうために企画したものです。

5月までに2つのテーマに分けて行っていますが身近な生活習慣病ということもあり、参加者の方々は真剣な面持ちで受講されておりました。

罹るととても恐ろしく大変な疾病なので、規則正しい生活の基で防いでいきたいですね。

糖に関するポイント

- ・ 疾病の一因となる糖の摂りすぎとは、「糖分」ではなく「糖質」(砂糖だけでなくご飯などの炭水化物にも含まれる)
- ・ 適度な運動、食事の栄養のバランスは大事。
- ・ ストレスからなる生活の乱れもありうるので解消法を探す。
- ・ 朝は血糖値が上がりやすくなる傾向にあるので、朝食には糖質が少ない物を選ぶ。

基本は正しい食生活

- ・ 1日3食規則正しく食事をする
- ・ 栄養バランスのとれた食事をする
- ・ 緑黄色野菜をたっぷり取る
- ・ あぶらっこいものは食べすぎない
- ・ 味つけはうすあじに
- ・ よくかんでゆっくり食べる
- ・ ながら食べはしない
- ・ 一人分ずつ分けて食べる
- ・ 清涼飲料水やスナック菓子は控える

第1回目 (2/7 2/18 2/22)

☆正しい食習慣とは?

第2回目 (4/25 4/26)

☆糖尿病食についてのクイズ

第3回目 (6/24)

☆看護師による糖尿病のお話

(紙面担当/梶谷怜史、田邊行将、中村徹斗)

いむしつ 医務室だより

夏本番を前に湿度と気温も上がる頃です。ここでは食中毒と熱中症について話をします！

食中毒予防3原則

しよくちゆうどくきん 食中毒菌を

しよくちゆうどく よぼう げんそく

！つけない！

！ふやさない！

！やっつける！

熱中症 予防 チェック!

ねっちゆうしょう

あつ 熱さに負けない身体をつくりましょう!

- 毎日朝食を摂っていますか？
- のどが渇く前に水分を摂っていますか？
- 塩分を定期的に摂取していますか？
- 睡眠は十分にとっていますか？



マスクをつけていると、マスクの中の温度が上がり、のどの渴きを感じにくくなります。こまめに水分をとることをこころがけましょう！



びかせいそう 美化清掃



春になり、雪が解けましたので感染防止対策を行ったうえで5月3日に地域貢献の一環として毎日利用者さんと従業員が利用している「宏栄社前」のバス停付近とバス停までの歩道のゴミ拾いを職員とパート従業員で行いました。

予定していた時刻は雨も止み、風が強い中ではありましたが綺麗になりました。拾ったゴミを見るとタバコの吸殻が多かったです。今後も、地域に貢献できるよう、取り組んでいきたいと思っております。



かんせんぼうし 感染防止 対策



コロナの影響により、2年ぶりによく調理実習をすることが出来ました。コロナ対策として、2名ずつ3回に分けての実習と試食になりました。メニューはホットケーキで、それぞれ自分だけのホットケーキを焼いて、飾りつけもして、とっても楽しく、美味しく頂きました！みなさん、最高の顔ですね♡

ちょうりじっしゅう 調理実習



3月行事食
 ☆ちらし寿司
 ☆さくらうどん
 ☆桜エビと玉ねぎのかき揚げ
 ☆桜もち



つきいちかい ぎょうじしょく 月一会・行事食

小樽の老舗の「あまとう」さんのケーキを4種類の中からみなさんに選んで頂きました。

毎月最後の水曜日の夕食時に、いつもの食事をちょっぴり贅沢にした月一会企画をスタートさせてから2年が経過します。地元店からのテイクアウトや熱々のメニューを提供し、行事食は、国民の祝日や季節に合わせた料理を提供しています。利用者さんにとって、楽しみで特別な食事になっているようです！



月一会メニュー
 12月～シャインマスカット
 1月～熱々サイコロステーキ
 2月～あまとうのケーキ
 3月～熱々チャーハンとミニラーメン
 4月～びっくりドンキーのハンバーグ



(紙面担当/伊藤拓也、新野千佳子)

I 法人の運営管理

- 基本理念の周知徹底
- 第1次中長期経営計画（Ver2.0）に基づいた事業経営
- 理事会・評議員会の開催及び監査の実施
- 定款および諸規程の整備
- 人材確保・育成
- 感染症対策の強化、業務継続に向けた取組の推進
- 各種委員会・会議の開催～経営改善会議・虐待防止委員会・安全衛生委員会 など
- 各種研修の実施～虐待防止研修・防災研修・安全運転研修・役員研修 など



II 福祉事業

- 就労支援の強化
- 利用者支援の充実
- 健康管理の徹底
- ニーズを組み入れた給食サービス
- グループホーム建設に向けた取り組み

III 就労支援事業

- 工場設備の整備及び工事
(1) 寝具工場屋根等の更新工事
- 組織力の強化・向上
- 働きやすい職場環境作りについて
- 工賃向上に向けた取り組み
- 新型コロナウイルスへの対応

れいわ ねんど けっさんほうこく
令和3年度 決算報告

しゃかいふくしほうじんほっかいどうこうえいしゃ
社会福祉法人北海道宏栄社

貸借対照表

令和4年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債および純資産の部	
I 流動資産	378,772,359	I 流動負債	54,596,410
II 固定資産	1,485,190,363	II 固定負債	47,786,650
1 有形固定資産	1,081,906,991	III 純資産	1,761,579,662
2 無形固定資産	0	1 基本金	3,754,750
3 投資等	403,283,372	2 国庫補助金等特別積立金等	171,685,006
		3 その他の積立金	364,303,800
		4 次期繰越活動収支差額 (内、当期活動収支差額)	1,221,836,106 (▲ 5,497,946)
合計	1,863,962,722	合計	1,863,962,722

事業活動計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：円）

資産の部		負債および純資産の部	
I サービス活動増減の部		III 特別増減の部	
1 サービス活動収益	955,707,608	1 特別収益	68,000
2 サービス活動費用 (内、利用者工賃、賃金総額)	955,901,909 (60,742,586)	2 特別費用	5,078,171
サービス活動増減差額	▲ 194,301	特別増減差額	▲ 5,010,171
		当期活動増減差額 (I + II + III)	▲ 5,497,946
II サービス活動外増減の部		IV 繰越活動増減差額の部	
1 サービス活動外収益	1,088,657	1 前期繰越活動増減差額	1,427,334,052
2 サービス活動外費用	1,382,131	2 当期末繰越活動増減差額	1,421,836,106
サービス活動外増減差額	▲ 293,474	3 その他の積立金積立額	200,000,000
経常増減差額 (I + II)	▲ 487,775	次期繰越活動増減差額	1,221,836,106

※利用者工賃の一人当たり平均月額（就労継続支援A型事業の利用者を除く）→ 36,549円（利用者総数 113名）
ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

しんりようしゃ しょうかい 新利用者さんの紹介



いしづかこうじ
石塚厚次さん

・利用開始日
令和3年11月16日
・所属
宏栄セルブ
・好きな事
文具集め
バスの時刻表を見
る事



すずきまさとし
鈴木正利さん

・利用開始日
令和4年1月25日
・所属
北海道宏栄社
・好きな事
釣り
作業をする事
車を見る事



よねたゆうた
米田優太さん

・利用開始日
令和4年4月11日
・所属
宏栄セルブ
・好きな事
ゲーム
物作り
(プラモデル、絵)

しんしよくいん しょうかい 新職員の紹介



しらね きみえ
白根 喜美恵さん

所属：生活支援課
好きな食べ物：山菜
趣味：ドライブ

1月より生活支援課
に支援員として勤務
しております。心機
一転頑張りますので
宜しくお願い致しま
す。

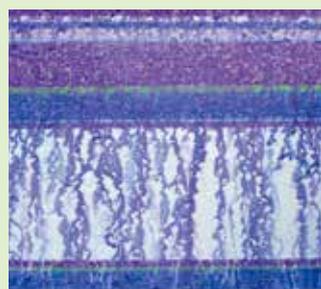


みぞぐち ゆうか
溝口 夕夏さん

所属：生活支援課
好きな食べ物：酢豚
趣味：愛犬とのハイキング

4月から看護師として勤務
しています。桑田佳祐さ
んの「晴れ渡る空のよう
に」を自分への応援ソ
ングとして頑張ります。宜
しくお願い致します。

ひょうし 表紙について



ひょうだい あめ なが むらさき
「表題：雨は流れる～紫」

【作品介绍】

水彩色鉛筆を塗った
画用紙を本当の雨でに
じませ、傾けて流しま
した。雨の流れを楽し
んでください。



たかはし かずふみ
高橋 一文さん

【作者紹介】

- 小樽市出身
○現在宏栄セルブを利用中
- ・2018年 第72回市展「教育長賞」
 - ・2019年 第73回市展「市長賞」
 - ・2019年 第94回道展「新人賞」
 - ・2021年 北海道現代アート展参加
 - ・2021年 THEY展参加

へんしゅうこうき 編集後記

ふれあい37号をお届けします。宏栄社は今年で60周年を迎えました。編集作業をしていて、宏栄社が時代の変化と共に成長し、変化していることを改めて感じました。今後は時代に取られ残されないように、今まで以上に柔軟な対応力と素早い判断力が求められてくるでしょう。小樽も観光客が増えてきており、少しずつ活気が出てきています。これからも明るく楽しい宏栄社の様子をお届けできるように、従業員一同、協力して頑張っていきます。（編集委員長：高田栄一郎）

(紙面担当/表涼楓、田邊行将、照井菜愛、新野千佳子)

各施設のご案内



社会福祉法人
〒047-0011

北海道宏栄社
小樽市天神2丁目8番2号



電話代表 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284

営業直通 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyua.or.jp/> メールアドレス selp@koueisyua.or.jp

(営業時間) ■平日 8:40~17:00 ■土曜 8:40~14:50 (定休日) 日曜、元日

障害者支援施設

北海道宏栄社

障がいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業を提供する施設です。

●施設入所支援事業

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業

日常生活上の支援、創作的活動や生産活動の機会を提供し、身体機能や生活能力の向上のための支援を行います。

相談支援事業所 あおば

障がいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業

施設や病院を出て、地域で暮らすための地域移行支援・地域定着支援を行ってまいります。

●特定相談支援事業

障がいのある方や児童に対して、障害福祉サービスを利用するためのサービス計画の作成や、一定期間ごとに評価（検証）を行い、サービス計画の見直しを行っています。

●障害児相談支援事業

TEL 0134-27-4722 FAX 0134-33-1131

メールアドレス aoba@koueisyua.or.jp

障害福祉サービス事業

宏栄セルブ

障がいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業

一般の会社に就労を希望する方に、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業

障がい理由で一般就労が困難な方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業

一般就労が困難な方に雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

●生活困窮者就労訓練事業

就労に困難を抱えた方に状況に応じた就労の機会を提供し、生活面や健康面での支援を行います。

福祉ホーム

宏栄社福祉ホーム

(居室数14室)

障がいのある方にバリアフリー対応の居室を提供します。Aタイプ(42.24㎡)とBタイプ(28.8㎡)があります。

TEL 0134-24-7551

北海道宏栄社の所在地



施設の利用状況

(令和4年6月1日現在)

区分	定員	利用者数		
		男性	女性	合計
北海道宏栄社 (入所)	54	43	11	54
生活介護				
宏栄セルブ (通所)	10	2	2	4
就労移行支援	10	8	0	8
就労継続支援A型	40	36	11	47
就労継続支援B型				

区分	居室数	利用中	空室
宏栄社	Aタイプ	6室(12名)	6室
福祉ホーム	Bタイプ	8室(8名)	8室
			0室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。

(印刷 協力) 日東印刷株式会社